

R7薬用作物産地支援 栽培技術研修 (大分会場)

研修実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員： 15名

研修実施場所： 1日目：由布市内ほ場、2日目：大分県中小企業会館（大分市）

実施時期： 11月25日（火）～26日（水）

	時間	研修科目	内容	講師	所属
11月25日 (火)	14:00-14:30 (30分)	13:30現地集合 場所：由布院駅前（JR九州） 移動(バス利用)→現地	研修の概要説明	事務局	
	14:30-16:00 (90分)	〔現地研修〕 薬用作物の栽培技術等について（ほ場見学）	大分県由布市における現地研修でトウキの収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、栽培、収穫、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	高田 龍也	由布市薬用作物協議会
	16:00-17:00 (60分)	移動(バス利用) 現地→大分駅前			
11月26日 (水)	8:30-9:00	受付		事務局	
	9:00-9:50 (50分)	〔講義〕 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について（仮題）	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	兀下 敏幸	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
	9:50-11:10 (80分)	〔講義〕 薬用作物の産地化に必要な栽培技術について（仮題）	国内栽培の期待が高い薬用作物の産地化の方法と栽培技術について解説する。	渥美 聡孝	九州医療科学大学 薬学部薬学科 准教授
	11:10-11:55 (45分)	〔講義〕 由布市における薬用作物栽培振興の取組み（仮題）	由布市における薬用作物（トウキ・シャクヤク等）の生産振興に関する地域・生産者の取組みを紹介する。	高田 龍也	由布市薬用作物協議会
	12:00-13:00	昼 食			
	13:00-14:30 (90分)	〔情報交流会〕 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:30-14:40	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	